



分散仮想スイッチの保留中の削除の管理

- [分散仮想スイッチの保留中の削除, 1 ページ](#)
- [保留中の削除の表示, 2 ページ](#)
- [保留中の削除のプロパティの変更, 2 ページ](#)
- [保留中の削除の削除, 3 ページ](#)

分散仮想スイッチの保留中の削除

明示的に、あるいは階層内の親オブジェクトを削除して、Cisco UCS Manager から分散仮想スイッチ (DVS) を削除すると、Cisco UCS Manager は VMware vCenter との接続を開始し、DVS の削除プロセスを開始します。DVS が VMware vCenter から正常に削除されるまで、Cisco UCS Manager は DVS を保留中の削除リストに入れておきます。

ただし、次のように特殊な状況が発生すると、Cisco UCS Manager は VMware vCenter から DVS を正常に削除できません。

- VMware vCenter データベースが破損した。
- VMware vCenter がアンインストールされた。
- VMware vCenter の IP アドレスが変更された。

DVS を VMware vCenter から正常に削除できない場合、Cisco UCS Manager で保留中の削除が削除されるか、VMware vCenter から DVS が正常に削除されるよう、保留中の削除のプロパティが変更されるまで、DVS は保留中の削除リストに残されます。保留中の削除を削除すると、DVS は Cisco UCS Manager から削除されますが、VMware vCenter からは削除されません。DVS が VMware vCenter に残っている場合、DVS を手動で削除する必要があります。

Cisco UCS Manager では、保留中の削除リストの表示、保留中の削除の削除、または保留中の削除のプロパティの変更ができます。たとえば、保留中の削除の VMware vCenter IP アドレスを修正すると、Cisco UCS Manager は接続を開始して、VMware vCenter から DVS を正常に削除できるようになります。Cisco UCS Manager からの DVS の削除を取り消すことはできません。

保留中の削除の表示

手順の概要

1. [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
2. [All] ノードの順に展開します。
3. [VMWare] をクリックします。
4. [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。

手順の詳細

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
- ステップ 2 [All] ノードの順に展開します。
- ステップ 3 [VMWare] をクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。
-

保留中の削除のプロパティの変更

You can change the properties of a pending deletion, if necessary, to ensure that Cisco UCS Manager can successfully initiate a connection and delete the DVS from VMware vCenter.

手順の概要

1. [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
2. [All] ノードの順に展開します。
3. [VMWare] をクリックします。
4. [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。
5. プロパティを変更する保留中の削除をクリックします。
6. 保留中の削除を右クリックし、[Show Navigator] を選択します。
7. [Properties] ダイアログボックスで、次のプロパティを 1 つ以上変更して Cisco UCS Manager が VMware vCenter に接続するようにします。
8. [OK] をクリックします。

手順の詳細

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
- ステップ 2** [All] ノードの順に展開します。
- ステップ 3** [VMWare] をクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。
- ステップ 5** プロパティを変更する保留中の削除をクリックします。
- ステップ 6** 保留中の削除を右クリックし、[Show Navigator] を選択します。
- ステップ 7** [Properties] ダイアログボックスで、次のプロパティを 1 つ以上変更して Cisco UCS Manager が VMware vCenter に接続するようにします。

名前	説明
[Hostname] フィールド	データセンターが存在するホスト。
[Datacenter] フィールド	データセンターの名前。
[Protocol] フィールド	データセンターのプロトコル。
[Folder] フィールド	削除するフォルダ。

- ステップ 8** [OK] をクリックします。
Cisco UCS Manager が VMware vCenter と接続し、DVS を削除しようとします。

保留中の削除の削除

When you delete a pending deletion, the DVS is deleted from Cisco UCS Manager but is not deleted from VMware vCenter. If the DVS remains in VMware vCenter, you must delete the DVS manually.

手順の概要

1. [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
2. [All] ノードの順に展開します。
3. [VMWare] をクリックします。
4. [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。
5. 削除する保留中の削除をクリックします。
6. 保留中の削除を右クリックし、[Delete] を選択します。
7. 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

手順の詳細

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [VM] をクリックします。
 - ステップ 2 [All] ノードの順に展開します。
 - ステップ 3 [VMWare] をクリックします。
 - ステップ 4 [Work] ペインの [Deletion Tasks] タブをクリックします。
 - ステップ 5 削除する保留中の削除をクリックします。
 - ステップ 6 保留中の削除を右クリックし、[Delete] を選択します。
 - ステップ 7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-